



ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

旭川ロータリークラブ 会報

第3623回例会 Vol.77 No.24 2026(令和8)年2月6日(金)

プログラム

新入会員卓話 「(株)翠光園のご紹介と緑のお話」
株式会社翠光園 専務取締役 田島亮一 会員

メニュー

- ・棒棒鶏 クラゲの和え物
- ・鱈の唐揚 野菜添え甘酢あん
- ・小エビのチリソース煮
- ・豚肩ロースのロースト 中華ソース

平和構築と紛争予防月間

出席報告

第3622回例会

1月30日

会	員	99名
出	席	56名
出	席	率 56.57%

RIテーマ

会長 フランチェスコ・アレツツォ

“よいことのために手を取りあおう”

2月13日(金) 第3624回例会プログラム

クラブリーダーシップラーニングセミナー説明会

これからの予定

2月20日(金) RI創立記念例会(夜間)

2月27日(金) 休会(2月23日天皇誕生日)

1月30日(金) 第3622回例会の記録

開会宣言 五十嵐暁郎 会場副監督

点鐘 会長 12:30

ロータリーソング斉唱 手に手つないで

- 会長 濱岡雄史
- 編集 会報委員会
- 委員長 高田雅史
- 担当 切通洋平
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 事務局 五十嵐友紀子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL(0166)29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL(0166)25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/>
- Facebook facebook.com/asahigawarc/



facebook

会長挨拶：濱岡雄史

皆様、例会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日の会員卓話はスガイランドリー株式会社 菅井謙敬^{のりひろ}会員です。後ほどのスピーチを楽しみにしております。

今日は、私たちロータリアンにとって大切な指針である「四つのテスト」がどのように生まれたのか、その背景にあるハーバート・J・テラー（ハーブ）の物語を共有したいと思います。

ハーブは、誠実さと行動力を兼ね備えた実業家でした。苦学の末に大学を卒業し、第一次世界大戦にも従軍し、その後ビジネスの世界で成功を取めます。ロータリーに入会した彼に、1932年、大きな試練が訪れました。破産寸前のクラブ・アルミニウム社の再建を託されたのです。

負債は総資産を大きく上回り、倒産は目前。それでもハーブは、高給の地位を捨て、給与の8割減を受け入れ、さらに自らの資金まで投じて社長に就任しました。彼がまず取り組んだのは、会社の“倫理の基盤づくり”でした。社員が迷ったときに立ち返る、普遍的な判断基準が必要だと考えたのです。

祈りの中で生まれた最初の草案は100語。その後7項目にまとめ、さらに推敲を重ね、ついに4つの問いへと結晶しました。これが、私たちが大切にしている「四つのテスト」です。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

この指針は、まず広告に適用されました。誇張表現を排し、事実だけを語る広告へと変えたのです。競合他社を批判する文言もすべて削除されました。やがて四つのテストは会社全体の判断基準となり、ディーラー、顧客、従業員との信頼を生み、会社の再建に大きく貢献しました。

象徴的な出来事があります。倒産の危機が続く中、5万点の大口注文が舞い込みました。しかし、その業者は値引き販売を希望していました。これは長年支えてくれたディーラーに不公平になる。四つのテストに照らし、会社は苦渋の決断でこの注文を断りました。結果として、会社は負債を完済し、その後は大きな利益を生む企業へと成長していきます。

四つのテストは、厳しい現実の中で鍛えられた“実践的な倫理”です。時代が変わった今でも、その価値は失われていません。真実、公平、友情、そして公益。この4つは、国境や文化を超えて人々を結びつけ、ビジネスにも社会にも信頼をもたらします。

混迷の時代だからこそ、私たちロータリアンが四つのテストを胸に刻み、日々の行動に反映させることが、地域社会の信頼を守り、未来を照らす力になると信じています。

それではお食事にいたします。

委員会報告

職業分類・会員選考委員会

新田守 委員長より

- ・職業分類の新設について
「音楽家」「レンタルリース業」「宿泊業」
- ・会員増強について

ニコニコボックス

工藤 信 君

誕生日祝いを頂き、ありがとうございます。
した。

小滝達也 君

お誕生日のプレゼントを頂きました。あ
りがとうございます。

本田秀明 君

誕生日祝をいただき、ありがとうございます。
した。

外崎裕二 君

誕生日プレゼント、ありがとうございます。
す。

吉尾正幸 君

誕生日プレゼント、ありがとうございます。
した。人生！折り返しを迎えたので、引き
続きご指導よろしくお願ひします。

切通洋平 君

妻の誕生日にお花ありがとうございます。
した。

メークアップ

1月24日(土)～1月30日(金)迄 敬称略

[1月25日(日) 会員増強・維持セミナー/
クラブサポートミーティング]

小滝達也・山本倫生

[1月26日(月) 北海道2500RECへ]

生駒雅彦

プログラム

新入会員卓話

「#お洗濯、#ファッション、#よもやま話」

スガイランドリー株式会社

代表取締役 菅井謙敬 会員



まず自己紹介をさせていただきます。私はスガイランドリー代表を2012年に先代から引き継ぎました。クリーニング師、ジーンズソムリエ、TES繊維製品品質管理士の資格を持っております。札幌の服飾専門学校でクリーニングの授業を教えたり、コーディネーターの仕事も手掛けたりしていますが、基本的には「近文のクリーニング屋」です。

企業理念に「ものを大切にしよう」を掲げております。「また着たい」「出かけた」のお手伝いです。正社員14名、パートタイマーを入れて44名が、近文の工場、5つのお店で、またはデリバリーで働いています。

クリーニングは一般衣類のほかユニフォームについても行っています。工場さんの白衣、医療機関さんのユニフォーム、整備工場さんのつなぎなどです。他にコインランドリーも2軒、開いています。

洗濯代行業も始めました。衣類を洗って畳んでお戻しするサービスですが、シニア世代の方などの間で需要が高まっています。最後に染め直しです。岡山のジーパンを染めてい

る工場と協力して、インディゴ染め・黒染めの仕事をさせていただいています。

さて、今日は「なぜ人は服を着るのか」について話したいと思います。学校では4つの理由があると習います。「生理的」＝生きるため、守るため、動くためです。「心理的」＝変身、自己表現、モチベーションのためです。「社会文化的」＝「ロータリークラブ例会にはジャケットぐらい着ていきましょう」ということです。帰属意識を示す会社のユニフォームも一例です。最後に「思想的」とは、「これを伝えるために私は着ている」「こういう思想が好きだからこのブランドを着る」ということです。

さらに掘り下げて「マズローの欲求五段階表現」になぞらえると、コート一つ着るにしても、最も基礎的な生理的欲求は「寒いからコートを着る」、安全欲求なら「着るなら暖かいコート」、社会的欲求は、「周りと同じコート」、承認欲求は「みんなが憧れるブランドのコート」、自己実現欲求は「なりたい自分になれるコート」ということになります。



洋服は自分のために着るのか、相手のために着るのかという角度からも考えることができます。結婚式に、お気に入りのネクタイを締めていきますが、新郎新婦よりは派手な格好はしません。相手へのリスペクトだったり

感謝だったり、気持ちを添えて自分を抑える考え方もあります。

(着用している上着を指して) これは、1981年にうちの父親が旭川市の第1回北歐視察でスウェーデンに行った時に、現地のアウトドアショップで買った「フェールラーベン」ブランドのジャケット、1981年モデルです。1995年、高校2年生の時に父親からお下がりでもらって、それから30年着ています。「ヴィンテージ状態」とは、そんな思い出の品だったりします。

会社経営者の方が多いのでユニフォームについてお話しします。ユニフォームで重視されるのは機能、衣装、衛生です。異物混入が困る衛生の仕事は白衣、高級な飲食店はお店の雰囲気合わせた衣装を選びます。航空会社のコートは機能を追求しています。

ここからは日本の若者ファッション史を振り返ります。

50年代、ファッションの主流は和装から洋装に変わったと言われています。学生服からスーツになり、ジーンズの市民化もこのあたりからです。当時のファッションイスタはジェームス・ディーン、エルヴィス・プレスリー、日本だと石原裕次郎、黒柳徹子あたりですね。その後、ミュージシャンのファッションイスタが増えました。矢沢永吉、萩原健一、などです。

70年代は自由と自己表現の時代で、フォークロア、民族衣装系とかヒッピーなどが流行しました。

次の80年代はバブルでDCブランドが一気に入ってきます。色彩は好景気の時に派手になり、何か天災が起きると落ち着く傾向があります。バブルの頃は原色使いばかりでした。ちなみに私はバブル当時、六本木のシパング、エリアというディスコでバイトをして

いました。86年ごろには「危ない刑事（デカ）」のソフトスーツが流行りました（昨年あたりからまたソフトスーツの時代に入っていて、テレビの芸能人のスーツは肩が落ちていきます）。その後、渋カジ、アメカジが台頭してきました。一方で、つっぱりヤンキー不良ファッションもありました。ボンタン、特攻服、リーゼント、エナメルシューズのクリームソーダなどです。ファッション業界では、こうした流行はロック／ロカビリー、モッズ／アイビーに軍服／特攻服が融合したものとされています。

90年代はストリートと裏原宿の時代です。ヴィンテージ、アムラー、ギャル文化が入ってきました。そして2000年代になってから世界中の雰囲気を変えたファストファッションがやってきます。ジャケットって5000円で買えるんですか？という時代です。いま25歳未満の方は、生まれた時からユニクロもZARAもH&Mも存在します。

2010年代には日本で東日本大震災があったりして、皆さんファッションがおとなしくなりました。スティーブ・ジョブズが「ノームコア」といって、究極の普通、本当にもうこれしか着ないというファッションを始めました。一方で「ハイアンドロー」と呼ばれる、上はハイブランドのジャケット、下はユニクロのパンツといった組み合わせも増えました。

最後に2020年代でいうとジェンダーレス、あとは機能性重視の服が増えました。いまストレッチ素材がブームです。オフィスカジュアルも丸首にジャケットといった組み合わせが増えました。疲労が取り除けることをうたう「リカバリーウェア」も機能性重視のファッションの一例です。

「サステナブル」の服を着る人も増えました。英国のチャールズ国王は昔からファッ

ションの世界で有名な方ですが、修復跡のある服をずっと着られています。「堂々と着よう」という風潮をファッション業界で作っています。

お洋服を見る、買う、着る、洗う、なおす、あげる、もらう、捨てる。その全ては皆様のライフスタイルであって、一つの物語だと思います。大切に着る一着と、潔く手放す一着のメリハリと、経年変化、やれ感、よれ感。わびさび。全ては洋服の魅力だと思いますので、これからも皆さんぜひお洋服を楽しんでいただければと思っています。

点鐘 会長 13:30

今月誕生日を迎える会員

1942(昭和17)年2月12日	仲山 昭義	会員
1953(昭和28)年2月17日	東郷 明子	会員
1956(昭和31)年2月25日	堀 容啓	会員
1963(昭和38)年2月13日	森 禎宏	会員
1967(昭和42)年2月16日	原 かおり	会員
1968(昭和43)年2月10日	山口 裕也	会員

計6名

R1第2500地区 2026—2027年度 PELS/CLLS 実行委員会組織図

PELS 2026年3月15日(日)
CLLS 2026年4月12日(日)

◎ 部会長
○ 副部会長

